

①【住所】

電話番号は必ず記載してください。個人の方は住民登録等の住所を記載してください。

②【氏名】

氏名又は、会社名等を記載してください。押印は、必ずお願いします。

③【個人番号又は法人番号】

個人の場合は、12桁の個人番号、法人の場合は、13桁の法人番号を右詰で記載してください。初めから「*」や番号が印字されている場合、個人番号・法人番号の記載は不要です。

④【事業種目】

事業の種目を具体的に記載してください。また、法人の場合は、資本金を記載してください。

⑤【事業開始年度】

事業開始年月(法人設立年月)を記載してください。

⑥【応答者】

申告の内容について直接応答される方を記載してください。

⑦【税理士】

申告書の作成を依頼している場合には、その代理申告する方の氏名と電話番号を記載して下さい。

⑧～⑭

該当するものを○で囲んでください。

⑧で「有」と記載の方は、「耐用年数短縮承認通知書」の写しを添付してください。

⑨で「有」と記載の方は、「増加償却届出書」の写しを添付してください。

⑩で「有」と記載の方は、「償却資産課税標準特例該当資産届出書」を添付してください。

⑫の取扱いは地方税法では適用になりませんが、確認のため記載をお願いします。

⑯【前年前に取得したもの】

現在所有している資産の取得価格を種類ごとに合計して記載してください。

⑰【前年中に減少したもの】

前年中(申告年度の前年1月2日～申告年の1月1日)に減少した資産の取得価格を種類ごとに合計してください。

⑱【前年中に取得したもの】

前年中(申告年度の前年1月2日～申告年の1月1日)に増加した資産の取得価格を種類ごとに合計してください。

⑳【計】

⑰から⑱までの計を計算してください。

※申告年度以前に取得した資産で、今年度初めて申告する資産がある場合(申告漏れ)は、⑱【前年中に取得したもの】に記載してください。

㉓～㉕

自社電算処理による申告の場合を除き、記載の必要はありません。

第二十六号様式 (提出用)

〇〇年度

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

所有者コード

住所 比企郡川島町大字下八ツ林870番地1 (電話 049-299-1757)

氏名 川島 太郎 (屋号)

3個人番号又は法人番号 1234567890123

4事業種目(資本金等の額) 不動産貸付業 (30百万円)

5事業開始年月 平成27年8月

6この申告に回答する者の係及び氏名 川島 花子 (電話 049-297-1811)

7税理士等の氏名 川島 花子 (電話 049-297-1811)

8短縮耐用年数の承認 有 無

9増加償却の届出 有 無

10非課税該当資産 有 無

11課税標準の特例 有 無

12特別償却又は圧縮記載 有 無

13税務会計上の償却方法 詳 略

14青色申告 有 無

資産の種類	取得			計 ((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)	15市(区)町村内における事業所等資産の所在地
	⑱ 前年前に取得したもの(イ)	⑰ 前年中に減少したもの(ロ)	⑱ 前年中に取得したもの(ハ)		
1 構築物	8,743,500			8,743,500	① 川島町大字平沼1175番地
2 機械及び装置	548,000	548,000	2,096,500	2,096,500	
3 船舶					16借用資産 (有・無)
4 航空機					
5 車両及び運搬具					17事業所用家屋の所有区分 自己所有 借家
6 工具・器具及び備品	958,800	669,300	1,015,000	1,304,500	
7 合計	10,250,300	1,217,300	3,111,500	12,144,500	18備考(添付書類等)

資産の種類 ⑲ 評価額 ⑳ 決定価格 ㉓ 課税標準額

1 構築物 2 機械及び装置 3 船舶 4 航空機 5 車両及び運搬具 6 工具・器具及び備品 7 合計

⑮【事業所等資産の所在地】

欄が足りない場合は、別紙又は、備考欄に記載してください。

⑯【借用資産】

該当するものを○で囲んでください。なお、「有」の場合は、当該所有者、資産名を記載してください。欄が足りない場合は別紙又は、備考欄に記載してください。

⑰【所有者区分】

該当するものを○で囲んでください。

⑱【備考】

前年度と比較して変更が無かった際には「増減なし」、該当する資産がない場合には「該当資産なし」、既に事業を廃止・撤退している場合には「事業廃止(撤退)済」と記載してください。

記載例1'